

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 09-179912

(43) Date of publication of application : 11.07.1997

(51)Int Cl. G06F 17/60

(21)Application number : 07-340941 (71)Applicant : HITACHI LTD

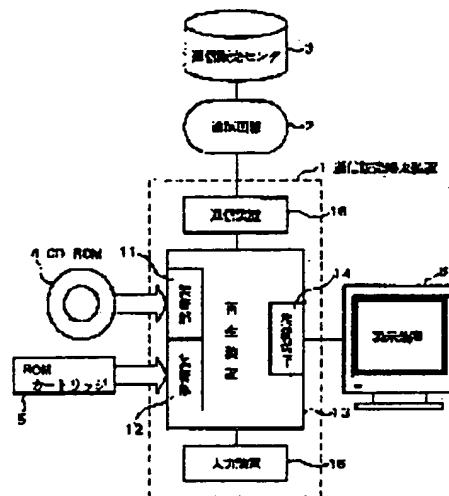
(22)Date of filing : 27.12.1995 (72)Inventor : MIURA JUN  
OKI MASAFUMI

**(54) MAIL-ORDER SALE TERMINAL EQUIPMENT**

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To simplify the procedure for ordering an article that a user follows.

**SOLUTION:** In the mail-order sale terminal equipment 1, a reproducing device 13 reads out article catalog information as information regarding an article to be sold out of a CD-ROM 4 and displays it on a display device 6. Further, connection information as information needed to make a connection with a mail-order sale center 3 through a communication line 2 and user identification information as information needed to discriminate specific user information as the mail-order sale center 3 are read out of a ROM cartridge 5; and a communication device 16 is controlled by using the connection information so as to make the connection with the mail-order sale center 3, and the communication device 16 is further controlled as to transmit the user identification information and ordered article information being information regarding the article that the user has ordered through an input device 15.



---

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

### [Date of extinction of right]

資料2号

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-179912

(43)公開日 平成9年(1997)7月11日

(51)Int.CI\*  
G 06 F 17/60

識別記号

序内整理番号

P 1

G 06 F 15/21

技術表示箇所

Z  
310Z  
350

(A)10000640001



審査請求 未請求 請求項の数7 OL (全28頁)

(21)出願番号 特開平7-340941

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(22)出願日 平成7年(1995)12月27日

(72)発明者 三浦 雄

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株式会社日立製作所マルチメディアシステム開発本部内

(72)発明者 大本 樹史

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株式会社日立製作所マルチメディアシステム開発本部内

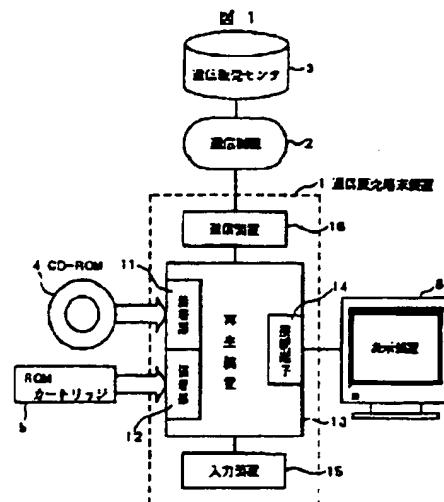
(74)代理人 弁理士 富田 和子

## (54)【発明の名称】 通信販売端末装置

## (57)【要約】

【課題】決済の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売ヤンkeeに、通信回線を介して商品を仕入する通信販売端末装置において、利用者が行う商品の注文手順を簡略化させる。

【解決手段】通信販売端末装置1において、尚先装置13は、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報をCD-ROM4から読み出して表示装置6に表示する。また、通信販売ヤンkee3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である利用者識別情報をROMカートリッジ5から読み出し、該読み出された情報を利用して通信販売センタ3との間を接続するよう、通信装置16を駆動すると共に、該利用者識別情報と、利用者が入力装置15から社員表示を入力した商品に関する情報である注文商品情報を通信販売センタ3に送信するよう、通信装置16を駆動する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報と記憶保持している通信販売センターに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置であって、

商品の注文指示の入力を受付ける入力装置と、少なくとも1つの記憶媒体を装着可能な装置部と、表示装置を接続可能な接続端子と、

上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続する通信装置と、

上記装置部に装着された記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報、上記通信販売センターが特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報を読み出す再生装置とを備え、上記再生装置は、

読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段と、読み出した接続情報を用いて、上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段と、

読み出した利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付いた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センターに送信するよう、上記通信装置を制御する手段とを有することを特徴とする通信販売端末装置。

【請求項2】請求項1記載の通信販売端末装置において、上記装置部に装着される記憶媒体は、

上記商品カタログ情報が記憶されているCD-ROMと、上記利用者識別情報が記憶されている、上記CD-ROMとは別の記憶媒体との2つの記憶媒体であり、上記接続情報は、上記2つの記憶媒体のうちのいずれか一方に記憶されていることを特徴とする通信販売端末装置。

【請求項3】請求項1記載の通信販売端末装置において、上記装置部に装着される記憶媒体は、

上記商品カタログ情報が記憶されている、読み出し専用の第1の記憶領域と、上記利用者識別情報を上記接続情報が記憶されている、1枚だけ読み込みが可能な第2の記憶領域とからなる光ディスクであることを特徴とする通信販売端末装置。

【請求項4】所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センターに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置であって、

商品の注文指示の入力を受付ける入力装置と、少なくとも1つの記憶媒体を装着可能な装置部と、

表示装置を接続可能な接続端子と、

上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続する通信装置と、

上記通信販売センターが特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報を記憶しているROMと、

上記装置部に装着された記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を読み出す再生装置とを備え、

上記再生装置は、

読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段と、

上記ROMに記憶されている接続情報を用いて、上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段と、

上記ROMに記憶されている利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付いた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センターに送信するよう、上記通信装置を制御する手段とを有することを特徴とする通信販売端末装置。

【請求項5】所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センターに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置であって、

商品の注文指示の入力を受行ける入力装置と、

少なくとも1つの記憶媒体を装着可能な装置部と、

表示装置を接続可能な接続端子と、

上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続する通信装置と、

上記通信販売センターが特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報を記憶するROMと、上記ROMに記憶されている接続情報を用いて、上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続するための必要な情報である接続情報を、上記通信販売センターから送信されて書き込まれることによって記憶されている不揮発性メモリと、

上記装置部に装着された記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を読み出す再生装置とを備え、

上記再生装置は、

読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段と、

上記不揮発性メモリに記憶されている接続情報を用いて、上記通信販売センターとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段と、

上記不揮発性メモリに記憶されている利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付いた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センターに送信するよう、上記通信装置を制御する手段とを有することを特徴とする通信販売端末装置。

【請求項6】所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置であって、  
 開けた注文指示の入力を受付ける入力装置と、  
 少なくとも1つの記憶媒体を複数可能な装置部と、  
 装置部を接続可能な接続端子と、  
 上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する通信装置と、  
 上記通信販売センタが特定の利用者情報を識別するためには必要な情報である利用者識別情報が、上記通信販売センタから送信されて書き込まれることによって記憶されている不揮発性メモリと、  
 上記装置部に装着された記憶媒体に記憶されている、販売希望の商品に関する情報である商品カタログ情報、および、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報を読み出す再生装置とを備え、  
 上記再生装置は、  
 読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段と、  
 読み出した接続情報を用いて、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段と、  
 上記不揮発性メモリに記憶されている利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付ける商品に関する情報である注文商品情報と、上記通信販売センタに送信するよう、上記通信装置を制御する手段とを有することを特徴とする通信販売端末装置。  
 【請求項7】所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を注文するゲーム機であって、  
 商品の注文指示の入力を受付ける入力装置と、  
 少なくとも1つの記憶媒体を複数可能な装置部と、  
 表示装置を接続可能な接続端子と、  
 上記装置部に装着された記憶媒体に記憶されているプログラムを読み出して実行する再生装置とを備え、  
 上記再生装置は、  
 読み出したプログラムを実行することで、  
 上記装置部に装着された記憶媒体に上記プログラムと共に記憶されている、販売希望の商品に関する情報である商品カタログ情報を読み出し、読み出した商品カタログ情報を上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段と、  
 上記装置部に装着された記憶媒体に上記プログラムと共に記憶されている、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報を読み出し、読み出した接続情報を用いて、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する手段と、

上記装置部に装着された記憶媒体に上記プログラムと共に記憶されている、上記通信販売センタが特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報を読み出し、読み出した利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付ける商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センタに送信する手段とを実現することを特徴とするゲーム機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信販売センタに通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】現在、商品カタログによって利用者に商品を注文させ、利用者が注文した商品を該利用者の自宅等に配達するという商品の販売方法である、通信販売が普及している。

【0003】このような通信販売において、利用者は、通信販売業者から提供される商品カタログを見て、注文したい商品がある場合には、該商品を注文するためには必要な情報である注文情報や、電話、ファクシミリ、郵便等で、通信販売業者に通知するようになっている。

【0004】なお、注文情報は、例えば、商品に固有に付与されている商品コード等の、注文する商品に関する情報である注文商品情報と、例えば、利用者の氏名、氏号、電話番号等の、商品を注文する利用者に関する記憶媒体である利用者情報とからなるものである。なお、利用者が商品の代金をクレジットカードで支払う場合には、利用者情報には、利用者が所持するクレジットカードのカード番号が含まれる必要がある。

【0005】また、最近では、パソコン通信を利用した通信販売も普及している。

【0006】パソコン通信を利用した通信販売において、利用者は、電話回線を利用したパソコン通信を使って一般的なISP局にアクセスし、アクセス先から提供される商品カタログ情報を見て、注文したい商品がある場合には、該商品を注文するためには必要な情報である注文情報を、アクセス先に送信するようになっている。このとき、利用者は、パソコンに設けられたキーボードから注文情報を入力するようになっている。なお、利用者は、ISP局にアクセスするためには必要な電話番号等の接続情報を、パソコンに設けられたキーボードからさらに入力する必要がある。

【0007】さらに、特開平9-105496号公報に記載されているように、通信販売センタに通信回線を介して商品を注文するための専用の端末装置である「通信販売端末装置」が考案されている。

【0008】この通信販売端末装置は、CD-ROM再生装置と、ディスプレイと、キーボードとを備え、CD-ROM再生装置か、CD-ROMに記憶されている

内カタログ情報を再生してディスプレイに表示するようになっている。そこで、利用者は、ディスプレイに表示された商品カタログ情報を見て、注文したい商品がある場合には、該商品を注文するためには必要な情報である注文情報を、キーボードから入力するようになっている。  
【0009】また、この通信販売装置は、クレジットカードのカード番号を読み取るための読み取装置をさらに備え、利用者が人力した注文情報を、および、読み取装置が読み取ったカード番号を、通信販売センタに送信するようになっている。

## 【0010】

【要約が解決しようとする課題】上述した商品カタログを利用した通信販売においては、利用者が電話で注文情報を通信販売業者に通知することで商品を注文する場合は、利用者が注文情報を読み上げなければならないという煩わしさがあり、また、利用者と電話を受付けた担当者との間で伝達ミスが生じるという危険性がある。また、利用者がファクシミリや郵便で注文情報を通信販売業者に通知することで商品を注文する場合は、利用者が注文情報を注文用紙に書き込まなければならないという煩わしさがあり、また、ファクシミリや郵便で通知した注文情報をが確実に通知されたか否かを利用者が判断することができないという不安がある。

【0011】また、上述したパソコン通信を利用した通信販売、および、上述した通信販売端末装置を利用した通信販売においては、人手を介さなくても済むので、伝達ミスが生じる危険性はないものの、利用者がキーボードから注文情報を入力しなければならないという煩わしさがある。

【0012】特に、注文情報は、注文商品情報および注用音情報からなることから、情報量が大きくなり、利用者の煩わしさも大きくなる。

【0013】ところで、注文情報のうちの注文商品情報は、注文の都度、その内容が異なるものとなるが、注文情報のうちの注用音情報は、特に利用者からの要請がない限り、その内容が変更されることはない。

【0014】そこで、通信販売センタが、利用者情報を一括して記憶保持しておくようにすれば、利用者は、注文の都度、自身の利用者情報を通知しなくてし、自身の利用者情報を変更するために必要な情報をのみを読み取れば済むようになる。

【0015】本発明の目的は、上述した点に着目し、通信販売センタに通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置において、利用者が行う商品の注文手順を簡略化することにある。

## 【0016】

【該課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報をある利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を注文する通信販売

端末装置であって、(1)商品の注文指示の入力を及ぼせる入力装置、(2)少なくとも1つの記憶媒体を兼ね可能な装置部、(3)表示装置を接続可能な接続端子、(4)上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する通信装置、(5)上記表示部に読み込まれた記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を、上記通信販売センタが特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である通信情報を読み出す再生装置、を備えるようにしている。

【0017】そして、上記再生装置は、(ア)読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段、(イ)読み出した接続情報を用いて、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するよう、上記接続装置を操作する手段、(ウ)読み出した利用者識別情報を、および、上記入力装置が注文用紙の入力を受付けた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センタに送信するよう、上記通信装置を制御する手段、を有するようにしている。

【0018】また、上記目的を達成するために、本発明は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置であって、(1)商品の注文指示の入力を及ぼせる入力装置、(2)少なくとも1つの記憶媒体を兼ね可能な装置部、(3)表示装置を接続可能な接続端子、(4)上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する通信装置、(5)上記通信販売センタが特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報が記憶されているROM、(6)上記装置部に読み込まれた記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を読み出す再生装置、を備えるようにしている。

【0019】そして、上記再生装置は、(ア)読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段、(イ)上記ROMに記憶されている接続情報を用いて、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段、(ウ)上記ROMに記憶されている利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付けた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センタに送信するよう、上記通信装置を制御する手段、を有するようにしてある。

【0020】また、上記目的を達成するために、本発明は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置

であつて、（1）商品の注文指示の入力を受付ける入力装置、（2）少なくとも1つの記憶媒体を装着可能な装置部、（3）表示装置を接続可能な接続端子、（4）上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する通信装置、（5）記通信販売センタが特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報が、上記通信販売センタから送信されて書き込まれることによって記憶されている不揮発性メモリ、（6）上記装置部に装着された記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を読み出す再生装置、を備えるようにしている。

【0021】そして、上記再生装置は、（ア）読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段、（イ）上記不揮発性メモリに記憶されている接続情報を用いて、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段、（ウ）上記不揮発性メモリに記憶されている利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付けた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センタに送信するよう、上記通信装置を制御する手段、を有するようにしている。

【0022】また、上記目的を達成するために、本発明は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置であつて、（1）商品の注文指示の入力を受付ける入力装置、（2）少なくとも1つの記憶媒体を装着可能な装置部、（3）表示装置を接続可能な接続端子、（4）上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する通信装置、（5）上記通信販売センタが特定の利用者識別情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報が、上記通信販売センタから送信されて書き込まれることによって記憶されている不揮発性メモリ、（6）上記装置部に装着された記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を、および、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報を読み出す再生装置、を備えるようにしている。

【0023】そして、上記再生装置は、（ア）読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段、（イ）読み出した接続情報を用いて、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段、（ウ）上記不揮発性メモリに記憶されている利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の入力を受付けた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信販売センタに送信するよう、上記通信装置を制御する手段、を有するようにしている。

## 【0024】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0025】まず、本発明の通信販売端末装置の第1の実施形態について、図1～図6を用いて説明する。

【0026】図1は本発明の通信販売端末装置の第1の実施形態を示すブロック図である。

【0027】図中、1は通信販売端末装置、2は通信回線、3は通信販売センタ、4はCD-ROM、5はROMカートリッジ、6は表示装置である。

【0028】通信販売センタ3は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している。

【0029】ここで、利用者情報は、例えば、利用者の住所、氏名、電話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口座番号等を表す各種情報であるようにすることができる。

【0030】第1の実施形態においては、（1）販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を記憶されているCD-ROM4、（2）通信販売センタ3が特定の利用者情報を識別するためには必要な情報である利用者識別情報と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である接続情報を記憶されているROMカートリッジ5、の2つの記憶媒体を用いるようにしている。

【0031】ここで、商品カタログ情報は、例えば、商品の外観を表す情報（静止画データや動画データ）、商品の説明を表す情報（音声データやキリストデータ）、商品に固有に付与されている商品コード情報（テキストデータ）等であるようであることができる。

【0032】また、利用者識別情報は、例えば、利用者に固有に付与されている利用者コード情報を用いるようにすることができる。

【0033】また、接続情報は、例えば、通信販売センタ3の電話番号を表す情報であるようにすることができる。

【0034】そこで、図1に示すように、通信販売端末装置1は、CD-ROM4を装着可能なCD-ROM装置部1-1と、ROMカートリッジ5を装着可能なROMカートリッジ装置部1-2とを備えるようになっている。

【0035】なお、CD-ROM4およびROMカートリッジ5は、別に、通信販売業者から利用者に提供されるようになっている。

【0036】詳しくは、商品カタログ情報は、全ての利用者に共通する内容であるので、通信販売業者は、商品カタログ情報を更新されたときなどに、両方、商品カタログ情報を記憶したCD-ROM4を利用者に提供する。また、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内容があるので、通信販売業者は、利用者との間で通信販売を実施する契約を交わして利用者情報を入手したとき

に、一度だけ、該利用者に附有に行なった利点者識別情報と接続情報を記憶したROMカートリッジ5を、該利用者に提供する。なお、利用者が転送した場合など、利点者識別情報を変更する必要が生じた場合でも、通信販売センタ3が記憶保持している利点者情報を変更すればよく、利点者識別情報を変更する必要はないので、通信販売センタ3は、ROMカートリッジ5を一度だけ利用者に提供すればよい。

【0037】また、図1に示すように、通信販売端末装置1は、表示装置6を接続可能な接続端子1-1と、商品の注文指示の入力を受ける入力装置1-5と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する通信装置1-6とを備えている。

【0038】さらに、図1に示すように、通信販売端末装置1は、CD-ROM装置部1-1に装着されたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報、並びに、ROMカートリッジ装置部1-2に装着されたROMカートリッジ5に記憶されている利点者識別情報および接続情報を読み出す再生装置1-3を備えている。

【0039】再生装置1-3は、詳しくは、CD-ROM装置部1-1に装着されたCD-ROM4から読み出した商品カタログ情報を、表示装置1-4に接続された表示装置6に表示する。また、ROMカートリッジ装置部1-2に装着されたROMカートリッジ5から読み出した接続情報を用いて、通信装置1-6が通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう制御する。また、ROMカートリッジ装置部1-2に装着されたROMカートリッジ5から読み出した利点者識別情報、および、入力装置1-5が注文指示の入力を受付けた商品に関する情報を、注文商品情報を、通信装置1-6が通信販売センタ3に送信するよう制御する。

【0040】このように、通信販売端末装置1の動作は、実際には、再生装置1-3の動作によって実現されるものである。

【0041】以下、再生装置1-3の動作について、図2を用いて説明する。

【0042】図2は再生装置1-3の動作の流れを示すフローチャートである。

【0043】なお、再生装置1-3は、内部に設けられたマイクロプロセッサ並びにグラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロセッサが実行するプログラムは、内部に設けられたプログラムROMに記憶されているようにしておりし、CD-ROM4およびROMカートリッジ5のいずれか、方に記憶されているようにしてよい。

【0044】利用者は、通信販売を利用する際に、まず、表示装置6を接続端子1-4に接続すると共に、通信販売センタから提供されたCD-ROM4およびROMカートリッジ5を、各々、CD-ROM装置部1-1およびROMカートリッジ装置部1-2に装着し、通信販売端末

装置1を起動する。

【0045】図2に示すように、通信販売端末装置1が起動されると、再生装置1-3は、CD-ROM装置部1-1に装着されたCD-ROM4から商品カタログ情報を読み出し、接続端子1-4に接続された表示装置6に表示するので(ステップ201)、利用者は、商品の注文指示を入力装置1-5から入力することができる。

【0046】ここで、再生装置1-3が商品カタログ情報を表示装置6に表示する様子、および、利用者が商品の注文指示を入力装置1-5から入力する様子の一例について、図3～図6を用いて説明する。

【0047】なお、以下に説明する例では、再生装置1-3が、利用者が入力装置1-5から入力する指示を受けに、段階的に、商品カタログ情報を表示装置6に表示するようになっているが、商品カタログ情報の表示方法や注文指示の入力方法は、これに限るものではない。

【0048】再生装置1-3は、図3～図6に示すように、商品の属別を表すメニュー画面300を表示し、利用者は、メニュー画面300において、所望の属別を選択する旨の表示を入力する。

【0049】図3では、利用者が「ビデオカメラ 301」を選択する旨の指示を入力した場合を示している。

【0050】利用者が「ビデオカメラ」301を選択する旨の指示を入力すると、再生装置1-3は、図4に示すように、「ビデオカメラ」の商品名を表すカタログ画面400を表示し、利用者は、カタログ画面400において、所望の商品名を選択する旨の指示を入力する。

【0051】図4では、利用者が「商品1」401を選択する旨の指示を入力した場合を示している。なお、利用者は、「メニュー」402を選択する旨の指示を入力することで、図3に示すメニュー画面300に戻すことができる。

【0052】利用者が「商品1」401を選択する旨の指示を入力すると、再生装置1-3は、図5に示すように、「商品1」を紹介する商品紹介画面500を表示し、利用者は、商品紹介画面500において、紹介されている商品を注文したい場合には、「購入希望」501を選択する旨の指示を入力する。

【0053】図5では、商品紹介画面500が、「商品1」の外部を表す静止画データや動画データが表示される領域502と、商品の特徴、サイズ、価格を表すテキストデータが表示される領域503とから構成されるようになっている。なお、利用者は、「メニュー」504を選択する旨の指示を入力することで、図3に示すメニュー画面300に戻すことができる。

【0054】また、商品紹介画面500において、利用者が「注文」505を選択する旨の指示を入力すると、再生装置1-3は、図6に示すように、それまでに「購入希望」501を選択する旨の指示が入力された商品名が、二重およびそれらの商品の合計金額を表示する画面601

Dを表示する。

【0055】なお、再生装置13は、注文画面600を表示するためには、「購入希望」501を選択する旨の指示が入力される度に、セレクトする商品名を表示情報を、内部に設けられたメモリに記憶保持しておく必要がある。

【0056】利用者は、注文画面600の内容を確認し、「実行」604を選択する旨の指示を入力することで、商品の注文指示の入力を終了することができる。なお、利用者は、「メニュー」602を選択する旨の指示を入力することで、図3に示すメニュー画面300に戻すことができる。

【0057】さて、図2に従って、利用者が商品の注文指示の入力を終了すること(ステップ202)、再生装置13は、ROMカートリッジ装置部12に装着されたROMカートリッジ5から接続情報を読み出す(ステップ203)。

【0058】続いて、再生装置13は、読み出した接続情報を通信装置16に出力することで、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する(ステップ204)。

【0059】例えば、接続情報を通信販売センタ3の電話番号を表示する場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報を表示電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発呼することで、通信販売センタとの間を通信回線2を介して接続する。

【0060】通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、ROMカートリッジ装置部12に装着されたROMカートリッジ5から利用者識別情報を読み出すと共に(ステップ205)、注文指示が入力された商品についての注文商品情報を作成する(ステップ206)。

【0061】ステップ206では、例えば、再生装置13は、CD-ROM装置部11に装着されたCD-ROM4に記憶されている門店カタログ情報をのうちから、注文指示が入力された商品に固有に付与されている商品コード情報を(すなわち、「購入希望」501を選択する旨の指示が入力される度にメモリに記憶保持しておいた商品名を表示情報に対応する商品コード情報)を読み出すことで、注文商品情報を作成することができる。

【0062】続いて、再生装置13は、ステップ205で読み出した利用者識別情報、および、ステップ206で作成した注文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通じて回線2を介して通信販売センタ3に送信するよう、通信装置16を制御する(ステップ207)。

【0063】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用者識別情報を、注文商品情報を

を、通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報によって、自身が記憶保持している利用者情報を検査し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された注文商品情報を、通信販売センタ3によって、利用者が注文した商品を識別することができる。

【0064】なお、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報および注文商品情報を基づいて判断した受注結果を、通信販売端末装置1に送信することができる。

【0065】例えば、通信販売センタ3は、利用者が注文した商品の納期を表すメッセージ情報を、受注結果として返送することができる。また、例えば、利用者情報が利用者の購入限度額を含むようにした場合に、利用者が注文した商品の合計金額が購入限度額を超えたならば、その旨を表すメッセージ情報を、受注結果として返送することができる。

【0066】さて、通信販売端末装置1においては、通信販売センタ3から返送された受注結果は、通信装置16によって受信されて再生装置13に出力される。

【0067】そこで、再生装置13は、通信装置16から受注結果が出力されると(ステップ208)、接続結果を表示装置6に表示してから(ステップ209)、通信販売センタ3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制御する(ステップ210)。

【0068】以上説明したように、本発明においては、通信販売端末装置1は、利用者情報を記憶保持している通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を注文する際に、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続すると共に、注文商品情報および利用者識別情報を通信販売センタ3に送信するようによくしている。

【0069】特に、利用者識別情報および接続情報は、通信販売端末装置1に装着されるROMカートリッジ5に予め記憶されていることから、利用者は、注文商品情報の元となる注文番号を入力だけでも、次回は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなる。

【0070】従って、本発明によれば、利用者が行き商品の注文手順を簡素化することができる。

【0071】なお、上述した第1の実施形態においては、接続情報をROMカートリッジ5に記憶されているようによっているが、CD-ROM4に記憶されているようにしてよい。

【0072】また、上述した第1の実施形態においては、通信販売端末装置1が、利用者識別情報を、注文商品情報を併せて通信販売センタ3に送信するようによっているが、通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接

続されたときに、通信販売センタ3からの指示に従って、注文商品情報より先に、利用者識別情報を送信するようにしてよい。

【0073】次に、本発明の通信販売端末装置の第2の実施形態について、図7および図8を用いて説明する。【0074】図7は本発明の通信販売端末装置の第2の実施形態を示すブロック図である。

【0075】図中、1は通信販売端末装置、2は通信回線、3は通信販売センタ、6は表示装置、7は光ディスクである。

【0076】通信販売センタ3は、予定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶している。

【0077】ここで、上述と同様に、利用者情報を、例えば、利用者の生年、氏名、電話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口座番号等を表す各種情報をあるようにすることができます。

【0078】第2の実施形態においては、(1)販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を記憶されている、読み出し専門の第1の記憶領域、(2)通信販売センタ3が特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報を、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である接続情報を記憶している、(3)受け書き込みが可能な第2の記憶領域、からなる1つの記憶媒体である光ディスク7を用いるようにしている。

【0079】ここでも、上述と同様に、商品カタログ情報は、例えば、商品の外観を表す情報(静止画データや動画データ)、商品の説明を表す情報(音声データやテキストデータ)、商品に固有に付与されている商品コード情報(テキストデータ)等であるようにすることができます。

【0080】また、上述と同様に、利用者識別情報は、例えば、利用者に固有に付与されている利用者カード情報を用いるようにすることができます。

【0081】また、上述と同様に、接続情報は、例えば、通信販売センタ3の電話番号を表す情報であるようにすることができます。

【0082】そこで、図7に示すように、通信販売端末装置1は、光ディスク7を接着不能な光ディスク装置部17を備えるようになっている。

【0083】なお、光ディスク7は、通信販売業者から利用者に導入されるようになっている。

【0084】詳しくは、商品カタログ情報は、全ての利用者に共通する内容であるので、通信販売業者は、商品カタログ情報を第1の記憶領域に記憶した光ディスク7を大量生産する。また、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内容があるため、通信販売業者は、第1の記憶領域に商品カタログ情報を記憶した光ディスク7の各々につ

いて、利用者識別情報を接続情報と第2の記憶領域に書き込んでから、該光ディスク7を、第2の記憶領域に書き込んだ利用者識別情報を対応する利用者に提供する。なお、利用者識別情報は、通信販売業者が、利用者との間で通信販売を実施する契約を交わして利用者情報を入手したときに、該利用者に固有に付与されるものである。

【0085】また、図7に示すように、通信販売端末装置1は、表示装置6を接続可能な接続端子14と、商品の注文指示の入力を受ける入力装置15と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する通信接続16とを備えている。

【0086】さらに、図7に示すように、通信販売端末装置1は、光ディスク装置部17に表記された光ディスク7中の第1の記憶領域に記憶されている商品カタログ情報、並びに、光ディスク装置部17に表記された光ディスク7中の第2の記憶領域に記憶されている利用者識別情報および接続情報を読み出す再生装置13を備えている。

【0087】再生装置13は、詳しくは、光ディスク装置部17に表記された光ディスク7中の第1の記憶領域から読み出した商品カタログ情報を、接続端子14に接続された表示装置6に表示する。また、光ディスク装置部17に表記された光ディスク7中の第2の記憶領域から読み出した接続情報を用いて、通信装置16が通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう制御する。また、光ディスク装置部17に表記された光ディスク7中の第2の記憶領域から読み出した利用者識別情報、および、入力装置15が注文指示の入力を受けていた際の固有する情報である注文商品情報を、通信装置16が通信販売センタ3に送信するよう制御する。

【0088】このように、通信販売端末装置1の動作は、実際には、再生装置13の動作によって実現されるものである。

【0089】以下、再生装置13の動作について、図8を用いて説明する。

【0090】図8は再生装置13の動作の流れを示すフローチャートである。

【0091】なお、再生装置13は、内部に設けられたマイクロプロセッサーがプログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロセッサーが実行するプログラムは、内部に設けられたメモリROMに記憶されているようにしてよいし、光ディスク7中の第1の記憶領域および光ディスク7中の第2の記憶領域のいずれか一方に記憶されているようにしてよい。

【0092】利用者は、通信販売を利用する際に、まず、表示装置6を接続端子14に接続すると共に、通信販売業者から提供された光ディスク7を光ディスク装置部17に装着し、通信販売端末装置1を起動する。

【0093】図8に示すように、通信販売端末装置1が

起動されると、再生装置13は、光ディスク装置部17に装着された光ディスク7中の第1の記憶領域から商品カタログ情報を読み出し、接続端子14に接続された表示装置6に表示するので(ステップ801)、利用者は、商品の注文指示を入力装置16から入力することができる。

【0094】なお、再生装置13が商品カタログ情報を表示する様子、および、利用者が商品の注文指示を入力する様子の一例は、上述した通りである。

【0095】利用者が商品の注文指示の入力を終了すると(ステップ802)、再生装置13は、光ディスク装置部17に装着された光ディスク7中の第2の記憶領域から接続情報を読み出す(ステップ803)。

【0096】続いて、再生装置13は、読み出した接続情報を通信装置16に出力することで、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する(ステップ804)。

【0097】例えば、接続情報が通信販売センタ3の電話番号を表す情報である場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報を表す電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発号することで、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する。

【0098】通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、光ディスク装置部17に装着された光ディスク7中の第2の記憶領域から利用者識別情報を読み出すと共に(ステップ805)、注文指示が入力された商品についての注文商品情報を作成する(ステップ806)。

【0099】ステップ806では、例えば、再生装置13は、光ディスク装置部17に装着された光ディスク7中の第1の記憶領域に記憶されている商品カタログ情報をうちから、注文指示が入力された商品に因みに付記されている商品コード情報を読み出すことで、注文商品情報を作成することができる。

【0100】続いて、再生装置13は、ステップ805で読み出した利用者識別情報、および、ステップ806で作成した注文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センタ3に通信するよう、通信装置16を制御する(ステップ807)。

【0101】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用者識別情報をおよび注文商品情報を、通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報によって、自身が記憶保持している利用者情報を検索し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された注文商品情報をもって、利用

者が注文した商品を識別することができる。

【0102】なお、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報および注文商品情報を基づいて判断した投注結果を、通信販売端末装置1に返送することができる。

【0103】例えば、通信販売センタ3は、利用者が注文した商品の納期を表すメッセージ情報を、投注結果として返送することができる。また、例えば、利用者情報が利用者の購入限度額を含むようにした場合に、利用者が注文した商品の合計金額が購入限度額を超えたならば、その旨を表すメッセージ情報を、投注結果として返送することができる。

【0104】さて、通信販売端末装置1においては、通信販売センタ3から返送された投注結果は、通信装置16によって受信されて再生装置13に出力される。

【0105】そこで、再生装置13は、通信装置16から投注結果が表示されると(ステップ808)、該投注結果を表示装置6に表示してから(ステップ809)、通信販売センタ3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制御する(ステップ810)。

【0106】以上説明したように、本発明においては、通信販売端末装置1は、利用者情報を記憶保持している通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を注文する際に、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続すると共に、注文商品情報をおよび利用者識別情報を通信販売センタ3に送信するようによっている。

【0107】特に、利用者識別情報および接続情報を、通信販売端末装置1に装着される光ディスク7に手記憶されていることから、利用者は、注文商品情報の元となる注文指示を入力だけで、從来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなる。

【0108】従って、本発明によれば、利用者が行き商品の注文手順を簡略化することが可能となる。

【0109】なお、上述した様な実施形態においては、通信販売端末装置1が、利用者識別情報を、注文商品情報を共に通信販売センタ3に送信するようにしているが、通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されたときに、通信販売センタ3からの指示に従って、注文商品情報を先に、利用者識別情報を送信するようにもしてもよい。

【0110】次に、本発明の通信販売端末装置の第3の実施形態について、図9および図10を用いて説明する。

【0111】図9は本発明の通信販売端末装置の第3の実施形態を示すブロック図である。

【0112】図9は、1は通信販売端末装置、2は通信回線、3は通信販売センタ、4はCD-ROM、6は表示

装置、8はROMである。

【0113】通信販売センター3は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶・保持している。

【0114】ここでも、上述と同様に、利用者情報は、例えば、利用者の住所、氏名、電話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口座番号等を表す各種情報であるようになることができる。

【0115】第3の実施形態においては、(1)販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報が記憶されているCD-ROM4、(2)通信販売センター3が持つ利用者情報を識別するため必要な情報である利用者識別情報と、通信販売センター3との間を通信回線2を通して接続するために必要な情報である接続情報とが記憶されているROM8、の2つの記憶媒体を用いるようになっている。

【0116】ここでも、上述と同様に、商品カタログ情報は、例えば、商品の外観を表す情報(静止画データや動画データ)、商品の説明を表す情報(音声データやテキストデータ)、商品に因るに付与されている商品コード情報(テキストデータ)等であるようにすることができる。

【0117】また、上述と同様に、利用者識別情報は、例えば、利用者に因るに付与されている利用者カード情報であるようにすることができる。

【0118】また、上述と同様に、接続情報は、例えば、通信販売センター3の電話番号を表す情報であるようにすることができる。

【0119】そこで、図9に示すように、通信販売端末装置1は、CD-ROM4を読み可能なCD-ROM装置部1.1を備えるようになっており、ROM8を内蔵するようになっている。

【0120】なお、CD-ROM4は、通信販売業者が利用者から提供されるようになっている。

【0121】詳しくは、商品カタログ情報は、全ての利用者に共通する内容であるので、通信販売業者は、商品カタログ情報が更新されたときに、通常、商品カタログ情報を記憶したCD-ROM4を利用者に提供する。

【0122】また、特に、第3の実施形態においては、利用者識別情報および接続情報が、通信販売端末装置1に内蔵されたROM8に記憶されるようになっているので、通信販売端末装置1自身も、通信販売業者から利用者に提供されるようになっている。

【0123】詳しくは、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内容であるので、通信販売業者は、利用者との間で通信販売を実施する契約を交わして利用者情報を入手したときに、一度だけ、該利用者に因るに付与した利用者識別情報と接続情報を書き込んだROM8を作成し、作成したROM8を内蔵した通信販売端末装置1を

該利用者に提供する。なお、利用者が転居した場合など、利用者情報を変更する必要が生じた場合でも、通信販売センター3が記憶保持している利用者情報を変更すればよく、利用者識別情報を変更する必要はないので、通信販売業者は、通信販売端末装置1を一度だけ利用者に提供すればよい。

【0124】また、図9に示すように、通信販売端末装置1は、表示装置6を接続可能な接続端子1.4と、商品の注文指示の入力を受ける入力装置1.5と、通信販売センター3との間を通信回線2を介して接続する通信装置1.6とを備えている。

【0125】さらに、図9に示すように、通信販売端末装置1は、CD-ROM装置部1.1に読みされたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報、並びに、ROM8に記憶されている利用者識別情報および接続情報を読み出し再生装置1.3を備えている。

【0126】再生装置1.3は、算しくは、CD-ROM装置部1.1に読みされたCD-ROM4から読み出した商品カタログ情報を、接続端子1.4に接続された表示装置6に表示する。また、ROM8から読み出した接続情報を用いて、通信装置1.6が通信販売センター3との間を通信回線2を介して接続するよう制御する。また、ROM8から読み出した利用者識別情報、および、入力装置1.5が注文指示の入力を受けた商品に関する情報である注文商品情報を、通信装置1.6が通信販売センター3に送信するよう制御する。

【0127】このように、通信販売端末装置1の動作は、実際には、再生装置1.3の動作によって実現されるものである。

【0128】以下、再生装置1.3の動作について、図10を用いて説明する。

【0129】図10は再生装置1.3の動作の流れを示すフローチャートである。

【0130】なお、再生装置1.3は、内部に設けられたマイクロプロセッサがプログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロセッサが実行するプログラムは、内部に設けられたプログラムROMに記憶されているようにしてもよいし、CD-ROM4およびROM8いずれか一方に記憶されているようにしてよい。

【0131】利用者は、通信販売を利用する際に、まず、表示装置6を接続端子1.4に接続すると共に、通信販売業者から提供されたCD-ROM4をCD-ROM装置部1.1に読みし、通信販売端末装置1を起動する。

【0132】図10に示すように、通信販売端末装置1が起動されると、再生装置1.3は、CD-ROM装置部1.1に読みされたCD-ROM4から商品カタログ情報を読み出し、接続端子1.4に接続された表示装置6に表示する(ステップ1001)。利用者は、商品の注文指示を入力装置1.5から入力することができる。

【0133】なお、再生装置13が商品カタログ情報を表示する様子、および、利用者が商品の注文指示を入力する様子の一例は、上述した通りである。

【0134】利用者が商品の注文指示の入力を終了すると(ステップ1002)、再生装置13は、ROM8から接続情報を読み出す(ステップ1003)。

【0135】続いて、再生装置13は、読み出した接続情報を通信装置16に出力することで、接続情報を用いて通信販売センター3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する(ステップ1004)。

【0136】例えば、接続情報が通信販売センター3の電話番号を表す情報である場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報を表す電話番号をダイヤルして通信販売センター3に対して発呼することで、通信販売センター3との間を通信回線2を介して接続する。

【0137】通信販売センター3との間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、ROM8から利用者識別情報を読み出すと共に(ステップ1005)、注文指示が入力された商品についての注文商品情報を作成する(ステップ1006)。

【0138】ステップ1006では、例えば、再生装置13は、CD-ROM装着部11に記憶されたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報をうちから、注文指示が入力された商品に固有に付与されている商品コード情報を読み出すことで、注文商品情報を作成することができる。

【0139】続いて、再生装置13は、ステップ1006で読み出した利用者識別情報、および、ステップ1006で作成した注文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センター3に送信するよう、通信装置16を制御する(ステップ1007)。

【0140】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用者識別情報および注文商品情報を、通信回線2を介して通信販売センター3に送信するので、通信販売センター3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報によって、自身が記憶保持している利用者情報を検定し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センター3は、通信販売端末装置1から送信された注文商品情報をもって、利用者が注文した商品を識別することができる。

【0141】なお、通信販売センター3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報および注文商品情報をに基づいて判断した注文結果を、通信販売端末装置1に送信することができる。

【0142】例えば、通信販売センター3は、利用者が注文した商品の納期を表すメッセージ情報を、注文結果とともに返信することができる。また、例を挙げると、利用者が持つ

が利用者の購入限度額を含むようにした場合に、利用者が注文した商品の合計金額が購入限度額を超えたならば、その旨を表すメッセージ情報を、受注結果として返送することができる。

【0143】さて、通信販売端末装置1においては、通信販売センター3から送された受注結果は、通信装置16によって受信され、再生装置13に出力される。

【0144】そこで、再生装置13は、通信装置16から受注結果が送出されると(ステップ1008)、該受注結果を表示装置6に表示してから(ステップ1009)、通信販売センター3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制御する(ステップ1010)。

【0145】以上説明したように、本発明においては、通信販売端末装置1は、利用者情報を記憶保存している通信販売センター3に通信回線2を介して商品を注文する際に、接続情報を用いて通信販売センター3との間を通信回線2を介して接続すると共に、注文商品情報および利用者識別情報を通信販売センター3に送信するようによっている。

【0146】特に、利用者識別情報および接続情報は、通信販売端末装置1に内蔵されたROM8に予め記憶されていることから、利用者は、注文商品情報の元となる注文指示を入力だけで、従来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報を入力する必要がなくなる。

【0147】従って、本発明によれば、利用者が行う商品の注文手順を簡略化することが可能となる。

【0148】なお、上述した第3の実施形態においては、通信販売端末装置1が、利用者識別情報を、注文商品情報をと共に通信販売センター3に送信するようにしているが、通信販売センター3との間が通信回線2を介して接続されたときに、通信販売センター3からの指示に従って、注文商品情報をより先に、利用者識別情報を送信するようにしてよい。

【0149】次に、本発明の通信販売端末装置の第4の実施形態について、図11～図19を用いて説明する。

【0150】図11は本発明の通信販売端末装置の第4の実施形態を示すブロック図である。

【0151】図中、1は通信販売端末装置、2は通信回線、3は通信販売センター、4はCD-ROM、6は表示装置、7は光ディスク、9は不揮発性メモリである。

【0152】通信販売センター3は、所定の複数の利用者に対して、該利用者に関する情報である利用者は記憶保存している。

【0153】ここでも、上述と同様に、利用者は操作、例えば、利用者の住所、氏名、電話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口座番号等を次に各種情報をあるようにすることができます。

【0154】第4の実施形態においては、(1)販売計

象の商品に関する情報である商品カタログ情報と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するため必要な情報である接続情報とが記憶されている(CD-ROM4)。(2)通信販売センタ3が特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報が記憶されている不揮発性メモリ9、の2つの記憶媒体を用いているようにしている。

【0155】 ここと、上述と同様に、商品カタログ情報は、例えば、商品の外観を表す情報(静止画像データや動画データ)、商品の説明を表す情報(音声データやテキストデータ)、商品に固有に付与されている商品コード情報(テキストデータ)等であるようにすることができる。

【0156】 また、上述と同様に、利用者識別情報は、例えば、利用者に固有に付与されている利用者識別情報をどのようにすることができる。

【0157】 また、上述と同様に、接続情報は、例えば、通信販売センタ3の電話番号を表す情報であるようにすることができる。

【0158】 そこで、通信販売端末装置1は、CD-ROM4を搭載可能なCD-ROM装置部11を備えるようになっており、不揮発性メモリ9を内蔵するようになっている。

【0159】 なお、CD-ROM4は、通信販売業者から利用者に提供されるようになっている。

【0160】 詳しくは、商品カタログ情報は、全ての利用者に共通する内容であるので、通信販売業者は、商品カタログ情報が更新されたときに、適宜、商品カタログ情報および接続情報を記憶したCD-ROM4を利用者に提供する。

【0161】 また、特に、第4の実施形態においては、利用者識別情報を、通信販売端末装置1に内蔵された不揮発性メモリ9に記憶されるようになっているので、通信販売端末装置1は、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して1回日に接続したときに、通信販売センタ3から送信された利用者識別情報を、不揮発性メモリ9に書き込むようになっている。

【0162】 詳しくは、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内容であるので、後述するように、利用者は、通信販売端末装置1と通信販売センタ3との間を通信回線2を介して1回日に接続したときに、通信販売端末装置1から自分の利用者情報を入力して送信し、通信販売業者は、通信販売端末装置1から送信された利用者情報を通信販売センタ3が入手して、利用者との間で通信販売を実施する契約を交わしたときに、該利用者に固有に付与した利用者識別情報を通信販売センタ3から通信販売端末装置1に送信すれば、通信販売端末装置1が利用者識別情報を不揮発性メモリ9に書き込むことができるようになる。

【0163】 また、図1に示すように、通信販売端末装置1は、表示装置6を接続可能な接続端子14と、商品の注文指示の入力を受付ける入力装置15と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する通信装置16とを備えている。

【0164】 さらに、図1に示すように、通信販売端末装置1は、CD-ROM装置部11に記憶されたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報および接続情報、並びに、不揮発性メモリ9に記憶されている利用者識別情報を読み出す再生装置13を備えている。

【0165】 再生装置13は、詳しくは、CD-ROM装置部11に記憶されたCD-ROM4から読み出した商品カタログ情報を、接続端子14に接続された表示装置6に表示する。また、CD-ROM装置部11に記憶されたCD-ROM4から読み出した接続情報を用いて、通信装置16が通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう制御する。また、不揮発性メモリ9から読み出した利用者識別情報を、および、入力装置15が注文指示の入力を受付けて商品に関する情報をある注文商品情報を、通信装置16が通信販売センタ3に送信するよう制御する。

【0166】 このように、通信販売端末装置1の動作は、実際には、再生装置13の動作によって実現されるものである。

【0167】 以下、再生装置13の動作について、図12を用いて説明する。

【0168】 図12は再生装置13の動作の流れを示すフローチャートである。

【0169】 なお、再生装置13は、外部に設けられたマイクロプロセッサがプログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロセッサが実行するプログラムは、内部に設けられたプログラムROMに記憶されているようにしててもよいし、CD-ROM4および不揮発性メモリ9のいずれか一方に記憶されているようにしててもよい。

【0170】 利用者は、通信販売を利用する際に、まず、表示装置6を接続端子14に接続すると共に、通信販売業者から提供されたCD-ROM4をCD-ROM装置部11に接続し、通信販売端末装置1を起動する。

【0171】 図12に示すように、通信販売端末装置1が起動されると、再生装置13は、CD-ROM装置部11に記憶されたCD-ROM4から商品カタログ情報を読み出し、接続端子14に接続された表示装置6に表示するので(ステップ1-2-01)、利用者は、商品の注文指示を入力装置15から入力することができる。

【0172】 なお、再生装置13が商品カタログ情報を表示する様子、および、利用者が商品の注文指示を入力する様子の一例は、上述した通りである。

【0173】 利用者が商品の注文指示の入力を終了すると(ステップ1-2-02)、再生装置13は、不揮発性メモリ9に利用者識別情報を記憶されているか否かを判定

する（ステップ1203）。

【0174】利用者識別情報が記憶されていない場合は、再生装置13は、利用者識別情報を不揮発性メモリ9に書き込むために、通信販売契約処理を行う（ステップ1204）。なお、通信販売契約処理の処理内容については、後述する。

【0175】また、利用者識別情報が記憶されている場合は、再生装置13は、不揮発性メモリ9から接続情報を読み出す（ステップ1205）。

【0176】続いて、再生装置13は、読み出した接続情報を通信装置16に output することで、該接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する（ステップ1206）。

【0177】例えば、接続情報が通信販売センタ3の電話番号を表す情報である場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報を表す電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発呼することで、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する。

【0178】通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、不揮発性メモリ9から利用者識別情報を読み出すと共に（ステップ1207）、注文指示が入力された商品についての注文商品情報を作成する（ステップ1208）。

【0179】ステップ1208では、例えば、再生装置13は、CD-ROM装置部14に記録されたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報をもとに、注文指示が入力された商品に同様に付与されている商品コード情報を読み出すことで、注文商品情報を作成することができる。

【0180】続いて、再生装置13は、ステップ1207で読み出した利用者識別情報、および、ステップ1208で作成した注文商品情報を、通信装置16に output することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するよう、通信装置16を制御する（ステップ1209）。

【0181】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用者識別情報および注文商品情報を、通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報によって、自身が記憶整理している利用者情報を対応し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された注文商品情報によって、利用者が記憶した商品を識別することができる。

【0182】なお、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報および注文商品情報を基にして判断した受注結果を、通信販売端末装置1に返信することができる。

【0183】例えば、通信販売センタ3は、利用者が生じた商品の納期を表すメッセージ情報を、受注結果として返送することができる。また、例えば、利用者情報が利用者の購入限度額を含むようにした場合に、利用者が記憶した商品の合計金額が購入限度額を超えたならば、その旨を表すメッセージ情報を、受注結果として返送することができる。

【0184】さて、通信販売端末装置1においては、通信販売センタ3から返送された受注結果は、通信装置16によって受信されて再生装置13に出力される。

【0185】そこで、再生装置13は、通信装置16から受注結果が出力されると（ステップ1210）、該受注結果を表示装置6に表示してから（ステップ1211）、通信販売センタ3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制御する（ステップ1212）。

【0186】次に、図12のステップ1204で行う通信販売契約処理について、図13を用いて説明する。

【0187】図13は通信販売契約処理の流れを示すフローチャートである。

【0188】図13に示すように、再生装置13は、まず、利用者情報の入力を促す画面を、接続端子14に接続された表示装置6に表示する（ステップ1301）。

【0189】利用者が利用者情報の入力を終了すると（ステップ1302）、再生装置13は、不揮発性メモリ9から接続情報を読み出し（ステップ1303）、読み出した接続情報を通信装置16に出力することで、該接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する（ステップ1304）。

【0190】例えば、接続情報が通信販売センタ3の電話番号を表す情報である場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報を表す電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発呼することで、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する。

【0191】通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、利用者が入力した利用者情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するよう、通信装置16を制御する（ステップ1305）。

【0192】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用者情報を、通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者情報を入力することができる。

【0193】そこで、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から送信された利用者情報を記憶保存すると共に、利用者情報を送信した利用者と利用者識別情報を付

与することと、通信販売を実施する契約を交わすことができるので、付与した利用者識別情報を、通信販売端末装置1に送信する。

【0194】なお、通信販売センタ3は、利用者識別情報を送信する前に、例えば、利用者情報に含まれているクレジットカードのカード番号をクレジットカード会社に照会するなどして、通信販売端末装置1から送信された利用者情報の正当性を判定することが好ましい。また、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1との間を接続している通話回線2を一旦切断し、利用者情報を含まれている電話番号をダイヤルして通信販売端末装置1に対して発信することで、利用者情報の正当性を判定するようにしてよい。

【0195】さて、通信販売端末装置1においては、通信販売センタ3から送信された利用者識別情報を、通信装置16によって受信されて再生装置13に出力される。

【0196】そこで、再生装置13は、通信装置16から利用者識別情報を出力されると(ステップ1306)、該利用者識別情報を不揮発性メモリ9に書き込んでから(ステップ1307)、通信販売センタ3との間を接続している通話回線2を切断するよう、通信装置16を制御する(ステップ1308)。

【0197】これにより、不揮発性メモリ9に利用者識別情報を記憶された状態となるので、次回以降は、図12に示したフローチャートにおいて、ステップ1203からステップ1203に移行することができるようになる。

【0198】なお、通信販売契約処理を終了した後、すなわち、ステップ1204の後に、ステップ1205に移行するようにしてよい。

【0199】以上説明したように、本発明においては、通信販売端末装置1は、利用者情報を記憶保存している通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を送付する際に、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続すると共に、注文商品情報をおよび利用者識別情報を通信販売センタ3に送信するようにしている。

【0200】特に、接続情報は、通信販売端末装置1に表示されたCD-ROM4に予め記憶されており、利用者識別情報は、上述した通信販売契約処理によって通信販売端末装置1に記憶された不揮発性メモリ9に記憶されることから、利用者は、注文商品情報の元となる注文指示を入力だけで、従来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報を入力する必要がなくなる。

【0201】従って、本発明によれば、利用者が行う商品の注文手順を簡素化することが可能となる。

【0202】また、本発明によれば、利用者が通信販売センタ3との間で通信販売を実施する契約を交わす際の手順

も簡素化することが可能となる。

【0203】なお、上述した第4の実施形態においては、通信販売端末装置1が、利用者識別情報を、注文商品情報を元に通話販売センタ3に送信するようになっているが、通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されたときに、通信販売センタ3からの指示に従って、注文商品情報をより先に、利用者識別情報を送信するようにしてよい。

【0204】次に、本発明の通信販売端末装置の第5の実施形態について、図14～図16を用いて説明する。

【0205】図14は本発明の通信販売端末装置の第5の実施形態を示すブロック図である。

【0206】図中、1は通信販売端末装置、2は通信回線、3は通信販売センタ、4はCD-ROM、6は表示装置、7はスピーカ、9は不揮発性メモリである。

【0207】通信販売センタ3は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報を記憶しておき、該利用者に関する情報を記憶している。

【0208】ここでも、上述と同様に、利用者情報は、例えば、利用者の住所、氏名、電話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口座番号等を表す各種情報であるようにすることができる。

【0209】第5の実施形態においては、(1)販売対象の商品に関する情報である商品カタログ種類が記憶されているCD-ROM4、(2)通信販売センタ3が特定の利用者情報を識別するため必要な情報である利用者識別情報と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である接続情報を記憶されている不揮発性メモリ9、の2つの記憶媒体を用いるようになっている。

【0210】ここでも、上述と同様に、商品カタログ情報を、例えば、商品の外観を表す情報(許止番データや動画データ)、商品の説明を表す情報(音声データやテキストデータ)、商品に固有に付与されている商品コード情報(アキリストデータ)等であるようにすることができる。

【0211】また、上述と同様に、利用者識別情報は、例えば、利用者に固有に付与されている利用者識別情報を用いて表示することができる。

【0212】また、上述と同様に、接続情報は、例えば、通信販売センタ3の電話番号を表示情報であるようにすることができる。

【0213】そこで、通信販売端末装置1は、CD-ROM4を読み可能なCD-ROM読取部11を備えるようになっており、不揮発性メモリ9を内蔵するようになっている。

【0214】なお、CD-ROM4は、通信販売業者が利用者に提供されるようになっている。

【0215】詳しくは、商品カタログ情報は、全ての利用者に共通する内容であるのと、通信販売業者1は、商品

カタログ情報を更新されたときなどに、運送、商品カタログ情報を記憶したCD-ROM4を利用者に提供する。

【0216】また、特に、第3の実施形態においては、利用者識別情報および接続情報を、通信販売端末装置1に内蔵された不揮発性メモリ9に記憶されるようになっているので、通信販売センター3は、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して1回目に接続したときに、通信販売センタ3から送信された利用者識別情報および接続情報を、不揮発性メモリ9に書き込むようになっている。なお、通信販売端末装置1と通信販売センタ3との間を通信回線2を介して1回目に接続するときには、利用者が自ら接続情報を入力することとなる。

【0217】詳しくは、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内容であるので、後述するように、利用者は、通信販売端末装置1と通信販売センタ3との間を通信回線2を介して1回目に接続したときに、通信販売端末装置1から自身の利用者情報を入力して送信し、通信販売業者は、通信販売端末装置1から送信された利用者情報を通信販売センタ3に入力して、利用者との間で通信販売を実施する契約を交わしたときに、該契約書に附有に付与した利用者識別情報および接続情報を通信販売センタ3から通信販売端末装置1に送信すれば、通信販売端末装置1が利用者識別情報および接続情報を不揮発性メモリ9に書き込むことができるようになる。

【0218】また、図14に示すように、通信販売端末装置1は、表示装置6を接続可能な接続端子14と、商品の注文指示の入力を受付ける入力装置15と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する通信装置16とを備えている。

【0219】さらに、図14に示すように、通信販売端末装置1は、CD-ROM装置部11に装着されたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報、並びに、不揮発性メモリ9に記憶されている利口者識別情報および接続情報を読み出す再生装置13を備えている。

【0220】再生装置13は、詳しくは、CD-ROM装置部11に装着されたCD-ROM4から読み出した商品カタログ情報を、接続端子14に接続された表示装置6に表示する。また、不揮発性メモリ9から読み出した利口者識別情報および、入力装置15が注文指示の入力を受付いた商品に関する情報をあるすべて商品情報を、通信装置16が通信販売センタ3に送信するよう制御する。

【0221】このように、通信販売端末装置1の動作は、実際には、再生装置13の動作によって実現されるものである。

【0222】以下、再生装置13の動作について、図15を用いて説明する。

【0223】図15は再生装置13の動作の流れを示すフローチャートである。

【0224】なお、再生装置13は、内部に設けられたマイクロプロセッサがプログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロセッサが実行するプログラムは、内部に設けられたプログラムROMに記憶されているようにしてもよいし、CD-ROM4において不揮発性メモリ9のいずれか一方に記憶されているようにしてもよい。

【0225】利用者11、通信販売業者14に接続すると共に、通信販売端末装置1と通信販売センタ3との間を通信回線2を介して1回目に接続するときには、利用者が自ら接続情報を入力することとなる。

【0226】図15に示すように、通信販売端末装置1が起動されると、再生装置13は、CD-ROM装置部11に装着されたCD-ROM4から商品カタログ情報を読み出し、接続端子14に接続された表示装置6に表示する(ステップ1501)。利用者は、商品の注文指示を入力装置15から入力することができる。

【0227】なお、再生装置13が商品カタログ情報を表示する様子、および、利用者が商品の注文指示を入力する様子の一例は、上述した通りである。

【0228】利用者が商品の注文指示の入力を終了すると(ステップ1502)、再生装置13は、不揮発性メモリ9に利用者識別情報および接続情報を記憶されているか否かを判定する(ステップ1503)。

【0229】利用者識別情報および接続情報が記憶されていない場合は、再生装置13は、利用者識別情報および接続情報を不揮発性メモリ9に書き込むために、通信販売契約処理を行なう(ステップ1504)。なお、通信販売契約処理の処理内容については、後述する。

【0230】また、利用者識別情報および接続情報が記憶されている場合は、再生装置13は、不揮発性メモリ9から接続情報を読み出す(ステップ1505)。

【0231】次いで、再生装置13は、読み出した接続情報を通信装置16に出力することで、該接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する(ステップ1506)。

【0232】次には、接続情報を通信販売センタ3の電話番号を表示する場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報を表示電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発呼することで、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する。

【0233】通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、不揮発性メモリ9から利用者識別情報を読み出すと共に(ステップ1507)、注文指示が入力された商品についての注文書類情報を作成する(ステップ1508)。

【0234】ステップ1508では、例えば、再生装置13は、CD-ROM装置部11に装着された(1)ーROM4に記憶されている商品カタログ情報のうちから、注文指示が入力された商品に因るに付与されている商品コード情報を読み出すことで、注文商品情報を作成することができる。

【0235】次いで、再生装置13は、ステップ1507で読み出した利用者識別情報、および、ステップ1508で作成した注文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センター3に送信するよう、通信装置16を制御する(ステップ1509)。

【0236】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用者識別情報および注文商品情報を、通信回線2を介して通信販売センター3に送信するので、通信販売センター3は、通信販売センター1から送信された利用者識別情報によって、自身が記憶保持している利用者情報を特定し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センター3は、通信販売センター1から送信された注文商品情報を、利用者が注文した商品を識別することができる。

【0237】なお、通信販売センター3は、通信販売端末装置1から送信された利用者識別情報および注文商品情報を基づいて判断した受注結果を、通信販売端末装置1に送信することができる。

【0238】例えば、通信販売センター3は、利用者が注文した商品の納期を表すメッセージ情報を、受注結果として送信することができる。また、例えば、利用者情報を利用者の購入履歴欄を含むようにした場合に、利用者が注文した商品の合計金額が購入履歴欄に記載されたならば、その旨を表すメッセージ情報を、受注結果として送信することができる。

【0239】さて、通信販売端末装置1においては、通信販売センター3から送信された受注結果は、通信装置16によって受信され、再生装置13に出力される。

【0240】そこで、再生装置13は、通信装置16から受注結果が送出されると(ステップ1510)、該受注結果を表示装置6に表示してから(ステップ1511)、通信販売センター3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制御する(ステップ1512)。

【0241】次に、図12のステップ1504で行う通信販売契約処理について、図16を用いて説明する。

【0242】図16は通信販売契約処理の流れを示すフローチャートである。

【0243】図16に示すように、再生装置13は、利用者識別情報および接続情報が不確実性モリリに記憶されていない場合は、まず、利用者情報をおよび接続情報の入力を促す画面を、接続端子14に接続された表示装置6に表示する(ステップ1601)。

【0244】利用者が利用者情報および接続情報の入力を終了すると(ステップ1602)、再生装置13は、入力された接続情報を通信装置16に出力することで、該接続情報を失いて通信販売センター3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する(ステップ1603)。

【0245】例えば、接続情報を通信販売センター3の電話番号を表す青版である場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報を表す電話番号をダイヤルして通信販売センター3に対して発呼することで、通信販売センター3との間を通信回線2を介して接続する。

【0246】通信販売センター3との間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、利用者が入力した利用者情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信販売センター3に送信するよう、通信装置16を制御する(ステップ1604)。

【0247】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用者情報を、通信回線2を介して通信販売センター3に送信するので、通信販売センター3は、通信販売端末装置1から送信された利用者情報を入手することができる。

【0248】そこで、通信販売センター3は、通信販売端末装置1から送信された利用者情報を記憶保護すると共に、利用者情報を送信した利用者に利用者識別情報を付与することで、通信販売を実施する契約を交わすことができるので、付与した利用者識別情報および接続情報を、通信販売端末装置1に返送する。

【0249】なお、通信販売センター3は、利用者識別情報および接続情報を返送する前に、例えば、利用者情報を含まれているクレジットカードのカード番号をクレジットカード会社に照会するなどして、通信販売端末装置1から送信された利用者情報の正当性を判定することが好ましい。また、通信販売センター3は、通信販売端末装置1との間を接続している通信回線2を一旦切断し、利用者情報を含めている電話番号をダイヤルして通信販売端末装置1に対して発呼することで、利用者情報の正当性を判定するようにしてよい。

【0250】さて、通信販売端末装置1においては、通信販売センター3から送信された利用者識別情報および接続情報は、通信装置16によって受信されて再生装置13に出力される。

【0251】そこで、再生装置13は、通信装置16から利用者識別情報および接続情報が送出されると(ステップ1605)、該利用者識別情報および該接続情報を不確実性モリリに記憶しながら(ステップ1606)、通信販売センター3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制御する(ステップ1607)。

【0252】これにより、不揮発性メモリ9に利用者識別情報および接続情報が記憶された状態となるので、次回以降は、図15に示したフローチャートにおいて、ステップ1503からステップ1505に移行することができるようになる。

【0253】なお、通信販売契約処理を終了した後、すなわち、ステップ1504の後に、ステップ1505に移行するようにしてよい。

【0254】以上説明したように、本発明においては、通信販売端末装置1は、利用者情報を記憶保存している通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を注文する際に、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続すると共に、注文商品情報および利用者識別情報を通信販売センタ3に送信するようになっている。

【0255】特に、利用者識別情報および接続情報は、上述した通信販売契約処理によって通信販売端末装置1に記憶された不揮発性メモリ9に記憶されることから、利用者は、注文商品情報の元となる注文指示を入力だけで、従来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなる。

【0256】次に、本発明によれば、利用者が行う商品の注文手順を簡素化することが可能となる。

【0257】また、本発明によれば、利用者が通信販売業者との間で通信販売を実施する契約を交わす際の手順も簡素化することが可能となる。

【0258】なお、上述した第5の実施形態においては、通信販売端末装置1が、利用者識別情報を、注文商品情報を共に通信販売センタ3に送信するようになっているが、通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されたときに、通信販売センタ3からの指示に従って、注文商品情報より先に、利用者識別情報を送信するようにしてよい。

【0259】

【実施例】ところで、上記第1の実施形態～上記第3の実施形態について、通信販売端末装置1の利用者への提供方法を考えると、上述したように、第3の実施形態においては、通信販売端末装置1は、通信販売を実施する契約を交わしたときに、通信販売業者から利用者に直接提供されるようになるが、そのほかの実施形態においては、その必要はない。

【0260】すなわち、上記第1実施形態においては、利用者ごとにその内容があなる利用者識別情報がROMカートリッジ9に記憶されているので、ROMカートリッジ9のみが、通信販売業者から利用者に直接提供されるようになります。通信販売業者から利用者に直接提供されなくてよい。

【0261】また、上記第2の実施形態においては、利用者識別情報がROMスクリプト2に記憶されているので、光

ディスク2のみが、通信販売業者から利用者に直接提供されるようすればよく、通信販売端末装置1は、通信販売業者から利用者に直接提供されなくてよい。

【0262】また、上記第4の実施形態および上記第5の実施形態においては、上述した通信販売契約処理によって、利用者識別情報が不揮発性メモリ9に記憶されるので、通信販売端末装置1およびCD-ROM4は、通信販売業者から利用者に直接提供されなくてよい。

【0263】このように、上記第1の実施形態、上記第2の実施形態、上記第4の実施形態、上記第5の実施形態においては、通信販売端末装置1は、通信販売業者以外の業者から利用者に提供されるようになることができる。

【0264】次に、上記第1の実施形態および上記第2の実施形態について、商品カテゴリ情報、利用者識別情報、および、接続情報を全てが、通信販売端末装置1に記憶される記憶媒体に記憶されているので、他の情報が記憶されている記憶媒体が装着されても、再生装置13は、該記憶媒体の記憶内容を読み出すことが可能である。

【0265】これは、言い替えれば、図1または図7に示した構成要素を備え、他の用途に利用されている端末装置を、通信販売端末装置1として利用することが可能であるということである。

【0266】そこで、以下に、現在普及しているゲーム機を通信販売端末装置1として利用した実施例について説明する。

【0267】(実施例) 図17は現在普及しているゲーム機の一例を示す外観図である。

【0268】図中、20はコントロールパッド、21はゲーム機本体、22はTV接続端子、23は通信端子、24はCD-ROM装置部、25はROMカートリッジ装置部である。

【0269】なお、ゲーム機本体21は、実際には、CD-ROM装置部24に装着されたCD-ROM、および、ROMカートリッジ装置部25に装着されたROMカートリッジの記憶内容を読み出す再生装置である。

【0270】本実施例のゲーム機においては、CD-ROMがCD-ROM装置部24に装着されて、電源が投入されると、再生装置は、CD-ROM装置部24に装着されたCD-ROMに記憶されている、ゲームを実現するためのプログラムおよびデータを読み出し、読み出したプログラムおよびデータをフレームパッド20から入力された指示に従って、読み出したデータを、TV接続端子22に接続されたTVに表示することで、ゲームを実現する。

【0271】また、本実施例のゲーム機においては、ROMカートリッジがROMカートリッジ装置部25に装着されて、電源が投入されると、再生装置は、ROMカートリッジ装置部25に装着されたROMカートリッジ

に記憶されている、ゲームを実現するためのプログラムおよびデータを読み出し、読み出したプログラムおよびコントロールパッド20から入力された指示に従って、読み出したデータを、TV接続端子23に接続されたTVに表示することで、ゲームを実現する。

【0272】また、本実施例のゲーム機においては、CD-ROMおよびROMカートリッジの両方が、各々、CD-ROM装置部24およびROMカートリッジ装置部25に装着されて、電源が投入されると、再生装置は、CD-ROM装置部24に装着されたCD-ROMおよびROMカートリッジ装置部25に装着されたROMカートリッジに各々記憶されている、ゲームを実現するためのプログラムおよびデータを読み出し、読み出したプログラムおよびコントロールパッド20から入力された指示に従って、読み出したデータを、TV接続端子23に接続されたTVに表示することで、ゲームを実現する。

【0273】さらに、本実施例のゲーム機は、オプションで販売されている通信モデム20を接続することができ、CD-ROMおよびROMカートリッジの少なくとも一方に記憶されているプログラムに、通信モデム23を割り当てる処理が含まれている場合には、第3者との間を通信回線2を介して接続することができるようになっている。

【0274】このように、ゲーム機本体21(再生装置)が上述した再生装置13に相当し、コントロールパッド20が上述した入力装置15に相当し、TV接続端子22が上述した接続端子14に相当し、TV接続端子23が上述した表示装置6に相当し、通信モデム23が上述した通信装置16に相当し、CD-ROM装置部24が上述したCD-ROM装置部11に相当し、ROMカートリッジ装置部25が上述したROMカートリッジ装置部12に相当するので、再生装置13の動作を実現するためのプログラムが、CD-ROM4およびROMカートリッジ5の少なくとも一方に記憶されているようにすれば、図17に示したゲーム機を通信販売端末装置1として利用することができる。

【0275】なお、図17に示したゲーム機を通信販売端末装置1として利用した場合は、利用者が入力する注文指示は、コントロールパッド20から入力することとなるので、コントロールパッド20で注文指示を入力することができるようなユーザインターフェースを用意する必要がある。

【0276】詳しくは、コントロールパッド20は、前に、図18に示すように、カーソルボタンクリップ、決定ボタン20bと、キャンセルボタン20cと、マウントボタン20dとを有するようになっているので、注文指示の入力方法は、カーソルボタン20aで選択して決定ボタン20dで決定することができるような方法にする必要がある。

【0277】これにより、利用者は、ゲームを楽しむためのゲーム機を利用して、通信販売における商品の注文を行うことができるようになる。

【0278】すなわち、利用者は、ゲーム機と通信モデム23とを所持しているならば、通信販売端末装置1を購入しなくても、通信販売業者から提供されるCD-ROM4およびROMカートリッジ(または、光ディスク7)を入手するだけでよい。また、利用者は、ゲーム機を所持しているならば、通信販売端末装置1を購入しなくても、通信モデム23を購入すると共に、通信販売業者から提供されるCD-ROM4およびROMカートリッジ5(または、光ディスク7)を入手するだけでよい。

【0279】従って、通信販売業者にとっても、ゲーム機の普及率から考えると、通信販売を実施する利用者を獲得しやすくなると共に、CD-ROM4およびROMカートリッジ5(または、光ディスク7)を利用者に提供するだけでよいので、コストを削減することができる。

#### 【0280】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の通信販売端末装置は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報をある利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置であって、まず、通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するためには必要な情報である接続情報を用いて、通信販売センタとの間を通信回線を介して接続し、既に、利用者が注文指示を入力した商品に関する情報である注文商品情報と、該利用者の利用者情報を通信販売センタが識別するためには必要な情報である利用者識別情報を、通信回線を介して通信販売センタに送信するようによっている。

【0281】特に、商品カタログ情報、利用者識別情報、および、接続情報は、通信販売端末装置が記憶内容を読み出しが可能な、少なくとも1つの記憶媒体に記憶されているので、利用者は、注文商品情報の元となる注文指示を入力するだけで、從来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなる。

【0282】従って、本発明の通信販売端末装置によれば、利用者が行う商品の注文手順を簡素化することができるという効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の通信販売端末装置の第1の実施形態を示すブロック図。

【図2】第1の実施形態における再生装置の動作の流れを示すフローチャート。

【図3】商品カタログ情報の表示の様子を示す説明図。

【図4】商品カタログ情報の表示の様子を示す説明図。

【図6】音楽カタログ情報の表示の様子を示す説明図。

【図7】本発明の通信販売端末装置の第1の実施形態を示すブロック図。

【図8】第2の実施形態における再生装置の動作の流れを示すフローチャート。

【図9】本発明の通信販売端末装置の第3の実施形態を示すブロック図。

【図10】第3の実施形態における再生装置の動作の流れを示すフローチャート。

【図11】本発明の通信販売端末装置の第4の実施形態を示すブロック図。

【図12】第4の実施形態における再生装置の動作の流れを示すフローチャート。

【図13】第4の実施形態における通信販売契約処理の流れを示すフローチャート。

【図14】本発明の通信販売端末装置の第5の実施形態を示すブロック図。

【図15】第5の実施形態における再生装置の動作の流れを示すフローチャート。

れを示すフローチャート。

【図16】第5の実施形態における通信販売契約処理の流れを示すフローチャート。

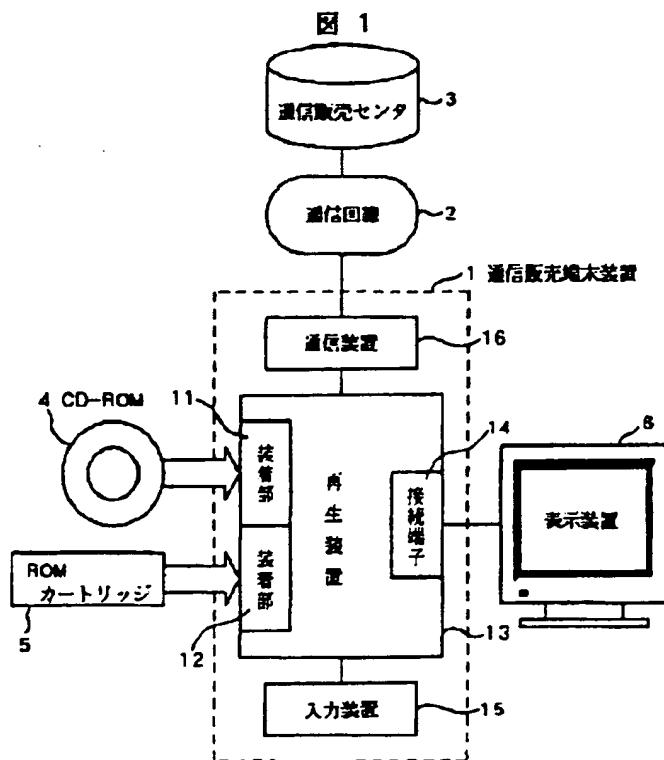
【図17】本発明の通信販売端末装置として利用するゲーム機の外観図。

【図18】ゲーム機におけるコントロールパッドの様子を示す説明図。

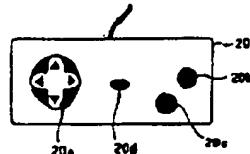
【符号の説明】

1…通信販売端末装置、2…通信回線、3…通信販売センタ、4…CD-ROM、5…ROMカートリッジ、6…表示装置、7…光ディスク、8…ROM、9…不揮発性メモリ、11…CD-ROM装置部、12…ROMカートリッジ装置部、13…再生装置、14…接続端子、15…入力装置、16…通信装置、17…光ディスク装置部、20…コントロールパッド、21…ゲーム機本体、22…TV接続端子、23…通信モジュール、24…CD-ROM装置部、25…ROMカートリッジ装置部。

【図1】



【図18】

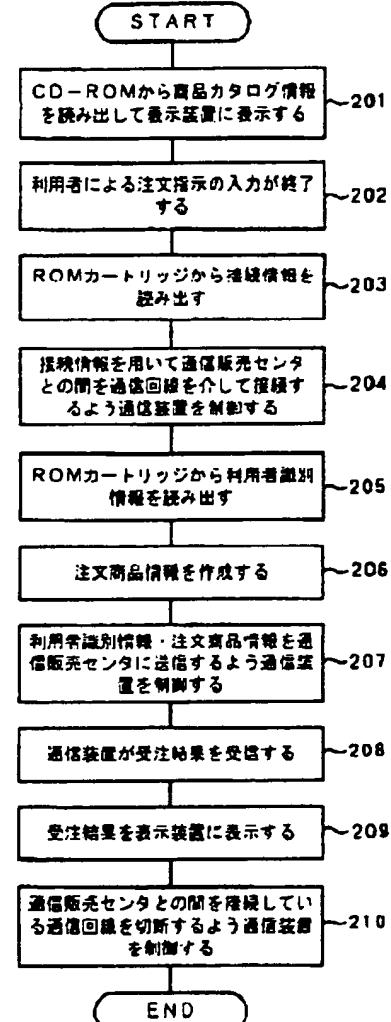


(20)

特開平9-179912

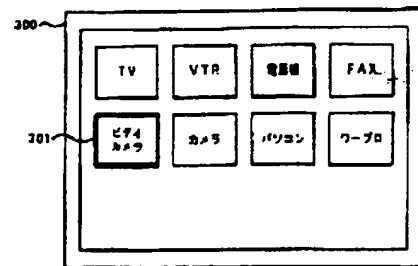
[図2]

図2



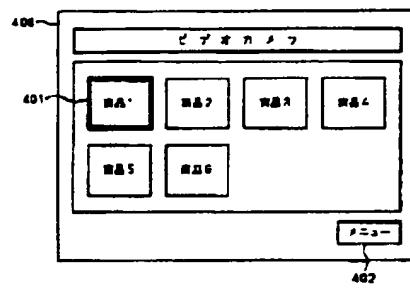
[図3]

図3



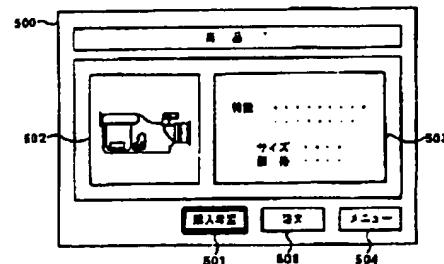
[図4]

図4



[図5]

図5

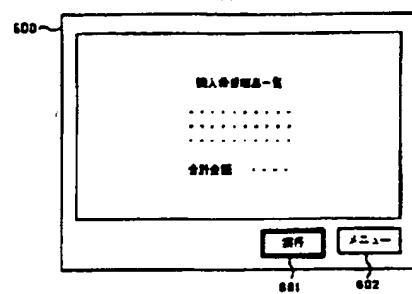


(21)

特開平9-179912

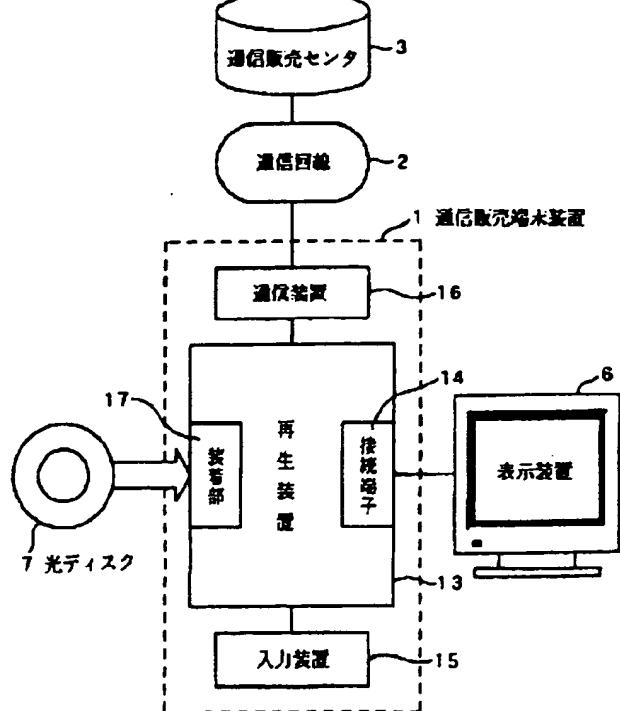
【図6】

図6

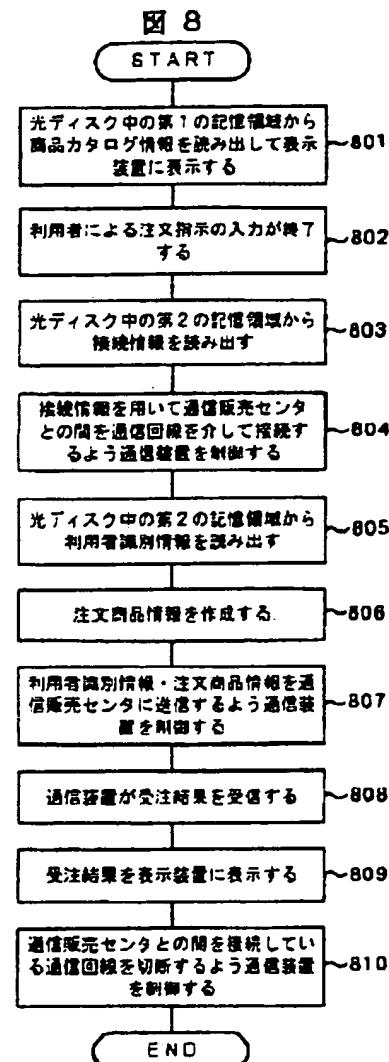


【図7】

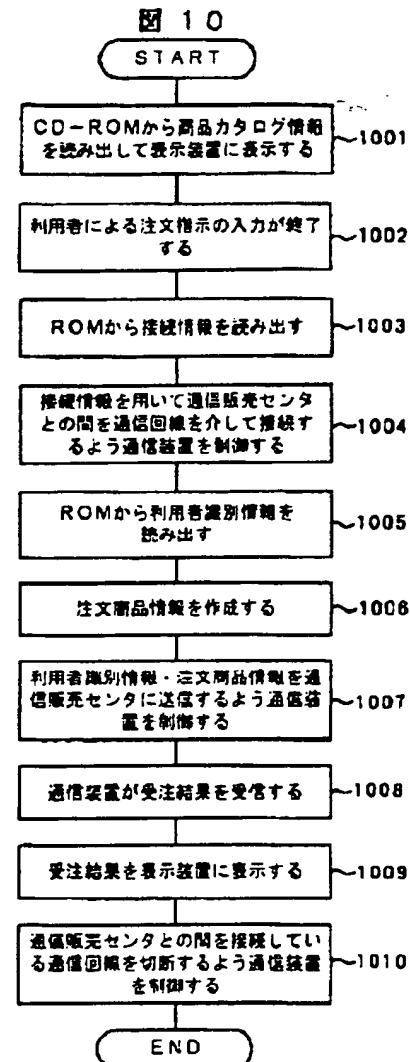
図7



【図8】



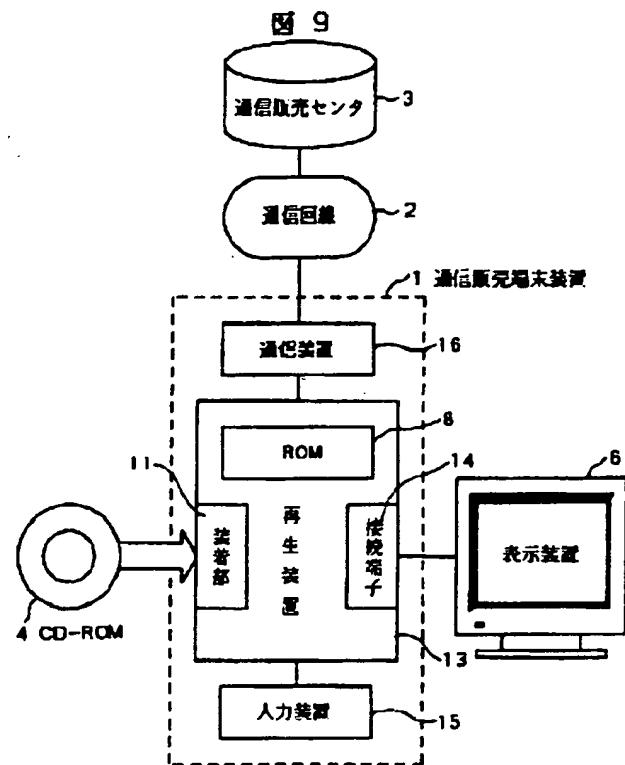
【図10】



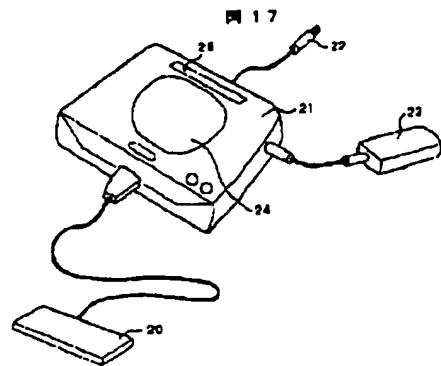
(23)

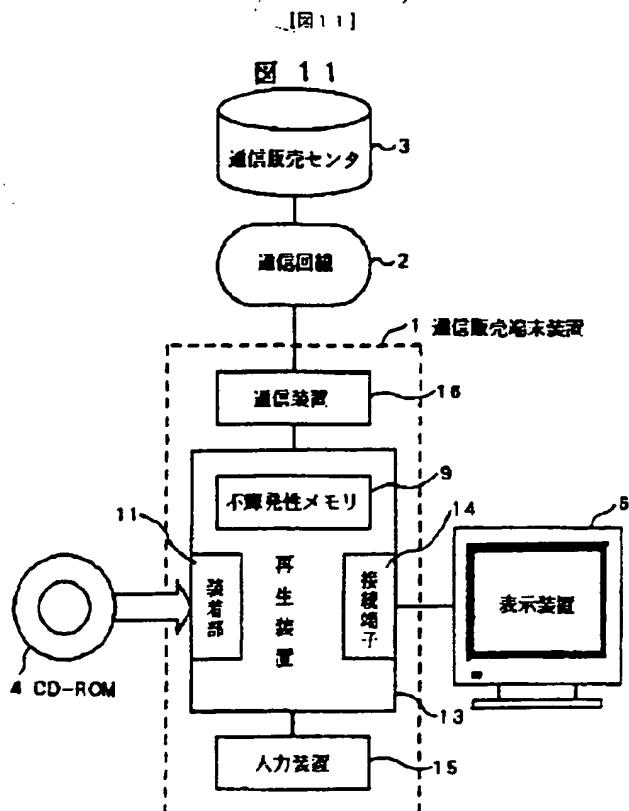
特開平9-179912

[図9]

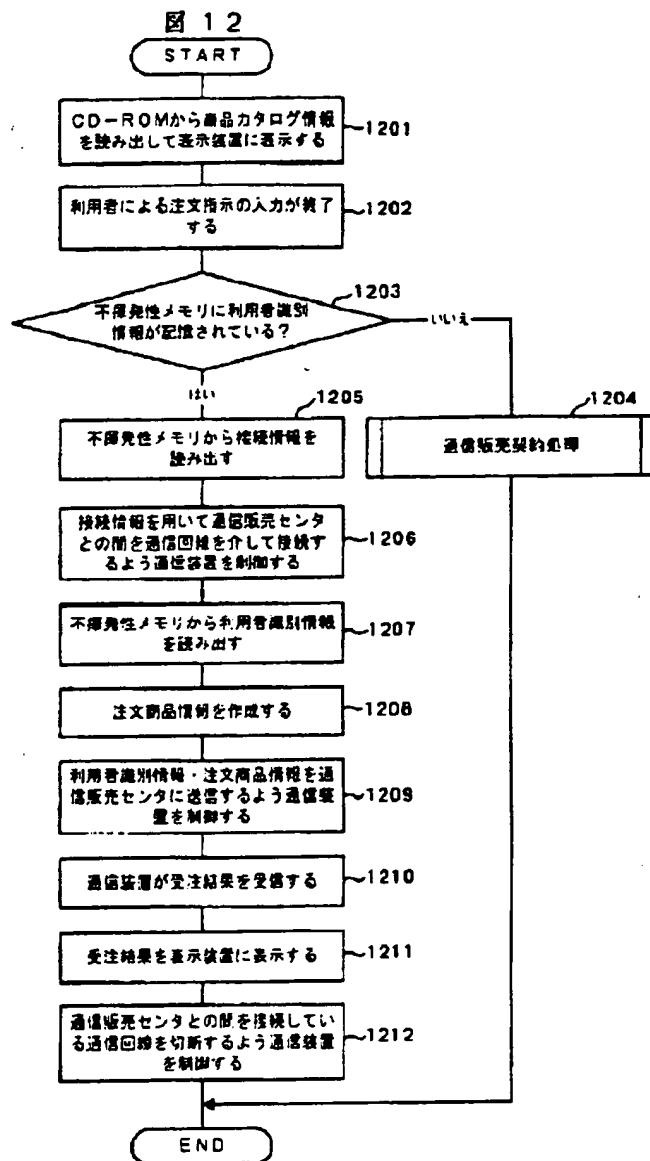


[図17]

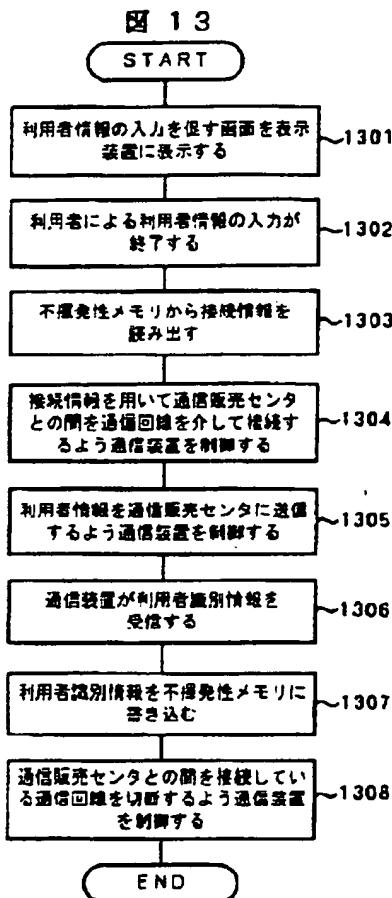




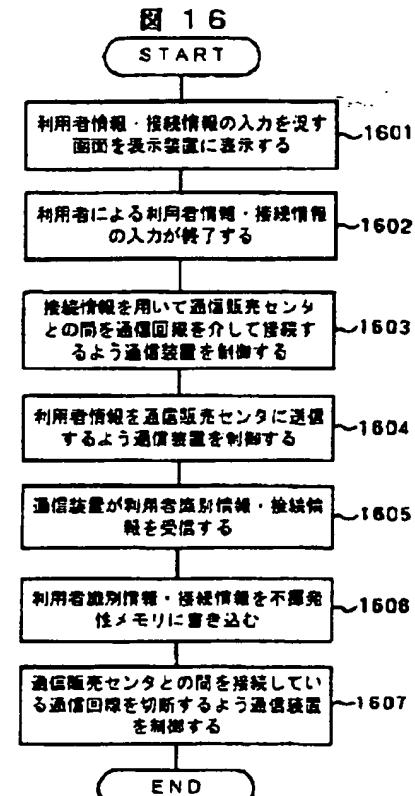
【図12】



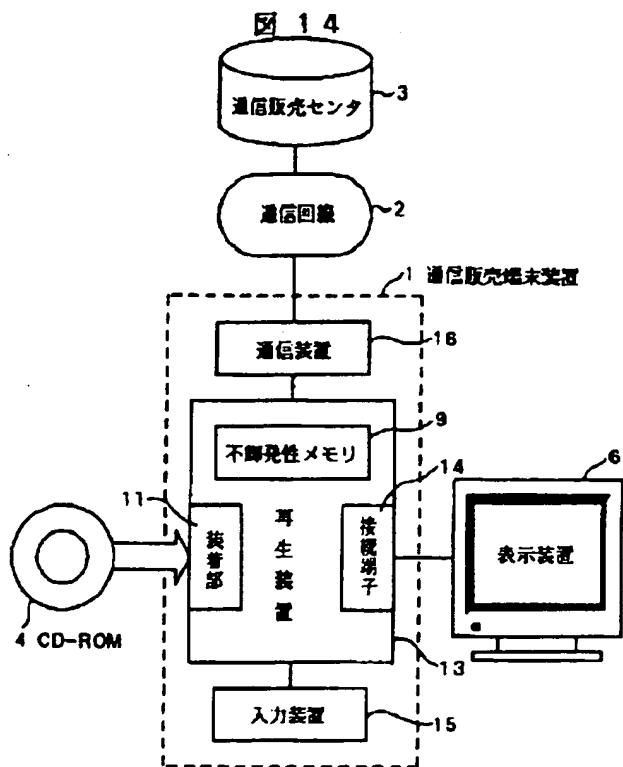
【図13】



【図16】



【図14】



【図15】

